

林業後継者活動支援事業（拡充）

【平成21年度予算額 90,539（90,539）千円】

事業のポイント

地域林業の推進役となる人材の育成を図るとともに、山村地域の小・中学生を対象とした体験学習等の実施を通じた森林所有者の活動を支援します。

- ・ 森林の整備及び保全等を着実かつ適切に推進するためには、地域の林業を牽引するリーダーの下、森林所有者の施業意欲を高め、林業生産活動を活性化することが必要。
- ・ 団塊世代等の森林所有者に対して、故郷での第2のライフスタイルを構築するための情報提供等が必要。
- ・ 森林の有する多面的機能を高度に発揮する多様で健全な森林の育成を図るためには、効率的かつ安定的な林業経営を担うべき人材の育成・確保を図ることが必要。
- ・ 若い林業後継者を確保するためには、山村地域の小・中学生を対象に、地域の森林・林業の意義や重要性等を認識させ、地元への誇りを持たせることが必要。

政策目標

指導林家一人当たりが行う技術指導等の年平均活動日数が平成26年度まで毎年度10日以上

< 内容 >

1. 林業技術等の向上支援

地域の林業をビジネスとして展開する人材の育成や、林業研究グループの優良事例発表会の開催、全国後継者大会の開催、女性グループのネットワーク化の推進を図るための活動等を支援します。

2. 団塊世代等の再チャレンジ支援

山村で育ち就職等で都市部へ転出し、現在、一斉退職時期を迎えている団塊世代等を対象とした所有森林の経営・管理のための支援を行います。

情報の提供

現地研修、学習会等の開催

森林経営・管理マニュアルの開発・普及

3. 次代を担う林業後継者の育成・確保支援

地域のリーダー的な森林所有者で組織する林業グループや指導林家をはじめとする普及指導協力員等が行う森林・林業関係学科高校生等のインターンシップや、林業体験学習等を通じた林業生産活動が低迷している森林所有者及びその後継者等に対する森林施業等の推進に関する普及・啓発活動を支援します。

また、地元の小・中学生に対する地域の森林・林業等の意義や重要性、森林資源が育む山村の生活文化を学ぶための体験学習等通じた後継者確保活動を支援します。

< 補助率 >

定額

< 事業実施主体 >

民間団体

< 事業実施期間 >

- 1 平成20年度～24年度（5年間）
- 2 平成19年度～21年度（3年間）
- 3 平成21年度～25年度（5年間）

[担当課：林野庁研究・保全課]

